

令和 4 年

彦根愛知犬上広域行政組合議会  
会 議 録

1 1 月臨時会  
( 1 1 月 1 5 日 )

彦根愛知犬上広域行政組合議会

〈第 4 号〉



令和 4 年 11 月

## 彦根愛知犬上広域行政組合議会臨時会会議録目次

### 第 4 号 11 月 15 日（火）

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
会議に出席した議員	1
会議に欠席した議員	1
議場に出席した事務局職員	1
会議に出席した説明員	2
開会	3
開議	3
会議録署名議員の指名(11 番 小川吉則君、12 番 村西作雄君)	3
会期の決定	3
議案第10号上程(管理者提案説明)	3
議案第10号(質疑)	4
15番 伊藤容子さん 質疑	4
トンネルコンポスト方式について	4
牛澤建設推進室長 答弁	4
和田管理者 答弁	5
綾木事務局長 答弁	8
安藤副管理者 答弁	12
17番 瀧すみ江さん 質疑	13
議案第10号 令和4年度(2022年度)彦根愛知犬上広域行政組合一般会計 補正予算(第2号)について	13
牛澤建設推進室長 答弁	13
谷村総務課長 答弁	14
5番 角井英明君 質疑	16
塵芥焼却場費 557 万 4 千円、委託業務を考えているコンサルタント業者 について	16
牛澤建設推進室長 答弁	16
エックス都市研究所について	19

牛澤建設推進室長	答弁	.....	19
斎場管理費 438 万 8 千円、投棄場管理費 51 万 9 千円について		.....	22
谷村総務課長	答弁	.....	22
6 番 西澤伸明君	質疑	.....	23
議案第10号について		.....	23
牛澤建設推進室長	答弁	.....	23
谷村総務課長	答弁	.....	26
和田管理者	答弁	.....	27
議案第10号(討論)		.....	30
6 番 西澤伸明君	賛成討論(議案第10号)	.....	30
2 番 堀口達也君	賛成討論(議案第10号)	.....	31
議案第10号(採決)		.....	32
会議案第1号上程(6番 西澤伸明君提案説明)		.....	33
16番 安澤勝君	質疑	.....	33
6 番 西澤伸明君	答弁	.....	34
13番 黒澤茂樹君	質疑	.....	35
6 番 西澤伸明君	答弁	.....	35
会議案第1号(討論)		.....	35
17番 瀧すみ江さん	賛成討論(会議案第1号)	.....	36
5 番 角井英明君	賛成討論(会議案第1号)	.....	36
1 番 木村修君	賛成討論(会議案第1号)	.....	36
会議案第1号(採決)		.....	37
閉会		.....	37
付録			
全員協議会(令和4年11月15日)		.....	38



事務局次長 谷 村 雅 史

書 記 荒 木 潤

---

**会議に出席した説明員**

管 理 者 和 田 裕 行 君  
副 管 理 者 安 藤 博 君  
副 管 理 者 有 村 国 知 君  
副 管 理 者 伊 藤 定 勉 君  
副 管 理 者 久 保 久 良 君  
会 計 管 理 者 辰 巳 正 君  
事 務 局 長 綾 木 陽 一 君

総 務 課 長 谷 村 雅 史 君  
総務課長補佐 高 橋 大 君  
紫雲苑場長 丸 澤 俊 之 君  
小八木中継基地場長 山 本 明 彦 君  
建設推進室長 牛 澤 史 幸 君  
建設推進室主幹 宇 野 恵 士 君

## 午前 9 時 31 分開会

○議長（杉原祥浩君） それでは、ただいまから令和 4 年 11 月彦根愛知犬上広域行政組合議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員は 18 名で会議開会定足数に達しております。よって、令和 4 年 11 月臨時会は、成立いたしました。

ただちに本日の会議を開きます。

---

### 日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（杉原祥浩君） 次に、日程第 1、本日の会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、11 番小川吉則君、12 番村西作雄君を指名いたします。

---

### 日程第 2 会期の決定

○議長（杉原祥浩君） 次に、日程第 2、会期の決定を議題とします。

お諮りいたします。今臨時会の会期は、本日 1 日といたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（杉原祥浩君） 異議なしと認めます。よって、今臨時会の会期は、本日 1 日に決定いたしました。

---

### 日程第 3 議案第 10 号上程（管理者提案説明）

○議長（杉原祥浩君） 次に、日程第 3、議案第 10 号 令和 4 年度（2022 年度）彦根愛知犬上広域行政組合一般会

計補正予算（第 2 号）を議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

〔高橋議会事務局副主幹朗読〕

○議長（杉原祥浩君） 提案者の説明を求めます。管理者。

○管理者（和田裕行君） 11 月臨時会に上程いたします議案第 10 号 彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算（第 2 号）の概要につきましてご説明いたします。

予算総額 5 億 1,585 万 1 千円に、補正額 1,124 万 9 千円を増額し、予算総額を 5 億 2,710 万円とするものでございます。補正する主な理由としましては、現在、彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設の整備につきまして、熱焼却方式にて事業を進めておりますが、並行して費用が安価で環境負荷が小さいと言われている好気性発酵乾燥方式（トンネルコンポスト方式等）について、精通したコンサルタント会社に委託し、本圏域での実現可能性の調査、検証等をしていくために必要な経費等を補正するものでございます。

また、現在、好気性発酵乾燥方式（トンネルコンポスト方式等）を導入し稼働されている香川県三豊市のバイオマス資源化センターみとよに彦根愛知犬上広域行政組合議会議員の先進地視察をしていただき、今後の判断のため、知見を深めていただく必要があることから視察に要する経費等を補正するものです。今回は残念ながら延期になりましたが、年度内に再開され

ましたら、改めて議員の皆様は日程の調整をさせていただきます。

さらに、紫雲苑および中山投棄場において、昨今の円安および原油価格の高騰等により、燃料費および光熱水費が予算額を上回る見込みであるため補正するものでございます。

以上が、今臨時会で提案しています議案の説明となります。ご審議を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

**○議長（杉原祥浩君）** これより質疑を行います。

発言通告書が4名の方々から提出されておりますので、順次発言を許します。

その順位は、15番伊藤容子さん、17番瀧すみ江さん、5番角井英明君、6番西澤伸明君とします。

なお、質疑は一問一答形式でお願いします。15番伊藤容子さん。

**○15番（伊藤容子さん）** おはようございます。本日は明快なる簡潔な答弁をよろしくお願いいたします。

大項目1、トンネルコンポスト方式について。議員にとっては、寝耳に水のような発表であったトンネルコンポスト方式の検討を始めるというお知らせでした。中項目1、ごみ処理方法変更の検討について。細項目1、現在進行中のストーカ方式は、施設整備基本計画を終え、造成等実施設計業務も令和4年度に終える予定であり、また、令和2年度から令和5年度にかけて進行中の環境影響評価は準備書の縦覧も終えたいま、なぜごみ処理方法

の変更を検討するのか理由を教えてください。

**○議長（杉原祥浩君）** 建設推進室長。

**○建設推進室長（牛澤史幸君）** トンネルコンポスト方式の検討を進める理由としましては、まず、近年の地球規模での気候変動が問題視され、その要因と考えられる温室効果ガス、特に二酸化炭素の排出量を削減することが当圏域でも取り組むべき課題となってきたからでございます。

また、近年の建設費の高騰を受け、新ごみ処理施設の整備費用について、各プラントメーカーに見積りを依頼し試算したところ、令和元年10月に策定しました新ごみ処理施設整備基本計画に記載の約200億円から約290億円に大幅な増額となる見込みとなってきました。

こうしたことから、今まで進めてまいりました熱焼却方式と並行して、地域全体として二酸化炭素排出量の削減による環境負荷の低減効果が期待でき、また、1市4町の厳しい財政状況の中できる限り財政負担を軽くするため、整備費用削減の可能性のある新たなトンネルコンポスト方式の検討をするものでございます。

**○議長（杉原祥浩君）** 伊藤議員。

**○15番（伊藤容子さん）** 再質問です。

二つの理由をあげて、まず二酸化炭素削減の説明をされたんですけど、トンネルコンポスト方式にすることによって、どのくらいのCO<sub>2</sub>が削減されるのか。私が調べましたら、CO<sub>2</sub>の

削減にはならないという見解もあると。最終的にガスになるということで、もっと専門家のCO<sub>2</sub>が削減されるという説明が欲しいと思います。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) CO<sub>2</sub>削減がどのくらいになるかということですが、そちらにつきましては、私どもも国内の実例が1例ということで、当圏域としてどれくらいCO<sub>2</sub>が削減できるか等を含めまして、今回のコンサルタント会社の方に委託して検証することを考えています。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 先程、もう1点の説明で財政が厳しいと言われて、200億から290億へ大幅に費用が上がったということを説明されましたが、CO<sub>2</sub>削減と金額が高騰したという二つの理由だと、きっかけとしては、どちらが大きい要因なのでしょうか。例えばCO<sub>2</sub>の削減としたら、市長が変わられたときからCO<sub>2</sub>削減は変わらない状況ですけど、金額が高騰したというのは、最近市長が変わってから判明したことだと思うので、今回の変更の原因としては二つの理由のうち、どちらが大きいのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 結論から申しますと、どちらも今回取り組んでいく要因となっております。1点目は試算した結果、200億から290億に増額となることが判明したこと。もう1点は、CO<sub>2</sub>削減という取組がか

なり加速している中で、当圏域としても取り組んでいかないといけないと強く認識していることからです。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 費用が大きく高騰したということが今になるのは分かるんですけど、CO<sub>2</sub>削減に関しては、市長になられて1年半が経ったいま、本当にCO<sub>2</sub>削減のために舵をきるのであれば、1年半を無駄に過ごしたと解釈できますが、どのような見解なのでしょう。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員、質問の主旨から外れてきました。

○15番(伊藤容子さん) CO<sub>2</sub>削減という意味では、市長に就任されて1年半遅かったのではないのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) それも質問から外れています。質問を変えていただくか、次の質問に 부탁드립니다。

○15番(伊藤容子さん) この方法の変更を検討する時期が遅かったのではないのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 管理者。

○管理者(和田裕行君) 就任して以来、ありとあらゆる方法をずっと検討し続けてまいりました。去年の段階で4町長の皆さんと何とかして、プラスチックごみを分別するということが合意を進めて、規模の縮減等に取り組んでまいりました。まだそのときは、トンネルコンポスト方式の認識はあったのですが、実現可能だという判断には至っておりません。我々の規模では、なかなか難しいという中で研究、

調査をし、実際に足を運び決めたものです。もっと早くに決めるに越したことはなかったのですが、与えられた状況の中では、ベストを尽くしたと思っております。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） 本気で取り組むのであれば、1年4か月ぐらいが経った8月に視察されたのは、ちょっと時期的に遅かったのではないかと思います。次に移ります。

細項目2、今回検討されるトンネルコンポスト方式について詳しくご説明ください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） トンネルコンポスト方式とは、視察させていただきました香川県三豊市の株式会社エコマスターの資料によりますと、ヨーロッパで開発されたごみ処理方式で、生ごみやプラスチック、紙などが混在する可燃ごみを破碎混合し、バイオトンネルと呼ばれるコンクリートの密閉発酵槽へ投入することで、微生物が生ごみを発酵分解し、その発酵熱を利用してプラスチック、紙などを乾燥処理する好気性発酵乾燥方式の1種でございます。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） はい、分かりました。

次にデメリットについて詳しくご説明ください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） トン

ネルコンポスト方式のデメリットとしましては、ごみ処理後の成果物である固形燃料の引取先の安定的な確保や、バイオトンネルの整備にある程度の敷地が必要となるため施設用地の確保、発酵に際し発生する臭気への対策が考えられますが、国内での事業実績が少なく情報が限られていることから、この点も含めて、この事業に精通したコンサルタント会社に委託し十分に調査、検証を行うことを考えています。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） いろいろ調べますと、作り出された固形燃料の排出先が安定的に見つかるかどうかのポイントだと思います。

令和元年6月の彦根市議会では、野村議員がトンネルコンポスト方式について質問していますが、その市の答弁については、ご承知でしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 令和元年6月の彦根市の定例議会で、ご質問があったと聞いております。トンネルコンポスト方式の需要の問題ですが、そちらにつきましても、今回の調査の中で十分に情報収集、検証をしていきたいと考えております。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） 需要先があるかどうかは大事なことです。組合として、その部分をどのように解決しようとお考えなのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 質問から大き

く外れていますので、質問の内容を変えるか、次に進んでください。

**○15番（伊藤容子さん）** では、デメリットについて、トンネルコンポスト方式はたくさんの自治体の議員等が視察に行かれています。たくさんの調査報告書がネットで見るができます。様々な議会でも、ごみ焼却場の更新について議論中であり、トンネルコンポスト方式が話題に出ますが、実際に採用しているところはございません。一つ阿波町というところが、審議中ということみたいですが、ほとんどのところが、供給先がないということで、断念していることがネット上でたくさん確認できます。このデメリットへの対応について慎重な検討が必要だと思いますけど、広域行政組合の見解を教えてください。

**○議長（杉原祥浩君）** 建設推進室長。

**○建設推進室長（牛澤史幸君）** ご指摘の点につきまして、先ほどから申し上げていますように精通したコンサルタント会社に調査を委託していくということでございます。

**○議長（杉原祥浩君）** 伊藤議員。

**○15番（伊藤容子さん）** では、検討に十分時間をかけるという組合の覚悟があるのでしょうか。

**○議長（杉原祥浩君）** すいません。また質問から外れてきました。質問を変えていただくか、次に進んでください。

**○15番（伊藤容子さん）** では、多くの自治体が踏みとどまって実行に移

していないトンネルコンポスト方式のデメリットの見解が調査で出ると思うのですが、それについて、組合の検討内容を丁寧に市民の皆さんに説明をして、今後もし、それに踏み切るのであれば、どのような解決をするのか丁寧な説明が必要と思いますが、どのようにお考えでしょうか。

**○議長（杉原祥浩君）** 質問から大きく外れてきましたので、質問を変えるか、次に進んでください。デメリットについては、先ほどお答えになったことが、以上だと思います。質問が大分違ってきましたのでお願いします。

**○15番（伊藤容子さん）** デメリットにどのように対応するのか。また、丁寧な審議をするのでしょうか。

**○議長（杉原祥浩君）** それも全てお答えになったかと思うのですが、質問を変えていただくか、次に進んでください。

**○15番（伊藤容子さん）** デメリットについて丁寧な市民への説明が必要になると思います。デメリットについてです。関係すると思います。教えてください。

**○議長（杉原祥浩君）** 建設推進室長。

**○建設推進室長（牛澤史幸君）** 今回の調査、検証した結果につきましては、デメリットを含めましてできる限り、丁寧な説明に努めてまいりたいと思います。

**○議長（杉原祥浩君）** 伊藤議員。

**○15番（伊藤容子さん）** ここは、じっくりと慎重に大きく判断を間違え

ないように慎重な検討を要するところだと思います。よろしく願います。

次に、焼却炉との併用についてです。災害時のごみ処理を自分の自治体でするとするのは、全国の自治体に求められていることで、どこの自治体も努力をして、自分のところのごみを処理するために、焼却施設の大きさを決定して実行されているところですが、彦根市の災害時のごみ処理は自分のところで焼却処理するというを守らなければならないと思います。また、安定した量の生ごみが出てくるので、上手く処理ができなかったということで、圏外に外部委託するということは本末転倒な話で、1市4町のごみを安定して処理するためには焼却方法との併用も必要かと考えられますが、今回の委託に焼却方法との併用についての調査は入っているのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 先ほども申し上げましたように、現時点では、トンネルコンポスト方式の情報収集と1市4町の当圏域内での実現可能性についての調査、検証を今回の補正では目的としておりますので、今回の委託の中には、熱焼却方式の併用についての検討は予定しておりません。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 分かりました。調査結果が出たあとに災害時のごみ処理などを総合的に行政組合で検討されるということでよろしいので

しょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 調査の結果、それも含めて慎重に検討していきたいと考えております。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 総合的に検討した結果、初めて議会で説明されるのでしょうか。それとも、一旦、この調査結果が出た段階で議会へ説明していただけるのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) また、質問から外れてきました。

○15番(伊藤容子さん) 焼却方法を検討する前に議会で説明はあるのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 事務局長。

○事務局長(綾木陽一君) 今回、コンサルタント会社に調査を委託しますので、その結果につきましては、皆様にご説明させていただきます。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) コンサルタント会社の調査結果が出たら、速やかに議会で説明するように答弁いただきましたので、よろしく願います。

次です。本方式の検討には、建設地変更の可能性も含まれているのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 今回の委託業務につきましては、トンネルコンポスト方式に係る当圏域として必要となる施設規模の設定や建設費用がどの程度になるかをコンサルタ

ント会社に整理していただくもの  
でございます。その後、ごみ処理方式  
についての判断を行い、一定の方向性  
を示すためのものがございますから、  
建設候補地変更の検討は入っており  
ません。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） 実際この  
方式は非常に広い敷地を要する方法  
であり、先ほど申しました、令和元  
年6月の彦根市議会の話ですけども、  
三豊市は40トンのごみを処理して  
いますが、1市4町では150トン  
ですので、約4倍の処理となるため、  
広い敷地が必要になるという彦根  
市の答弁がありました。施設の2階  
建、3階建も含めて検討し、ほか  
の候補地への変更は検討しないとい  
うことでよろしいのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 先  
ほど申しましたように、トンネルコ  
ンポスト方式で必要となる施設規模  
の設定。つまり、面積としてどれく  
らい必要かも含めて検討していくも  
のでございます。ですので、ご指摘  
の点も含めて、今回の委託の中で調  
査していきたいと考えておりますの  
で、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） 現在の  
ところの敷地面積は分かっているので  
広さが必要になると、2階建、3  
階建というかたちになってくるのだ  
と思うのですが、複数層階の実現可  
能性につ

いては、今回の委託で実施すると考  
えてよろしいのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） こ  
れからこの方式自体の調査、検証を  
行い、情報収集していく段階ですの  
で、いまの時点では、まだ分からない  
ところがございます。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） 調査の  
結果、広い敷地が必要になる場合、  
初めての候補地がトンネルコンポ  
スト方式に適するのかわ、適さない  
のかわ。例えばいまの敷地であれば、  
複数層階でできるのかわ。複数層  
階ができないのであれば、そのとき  
初めて別の候補地を検討せざるを得  
ない、そういう認識でよろしいの  
でしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） ま  
ず、要件を整理してから、現候補地  
が適地か検討していくかたちになり  
ます。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） コンサ  
ルト会社の調査で敷地が変更になる  
かもしれない。2層、3層でできる  
かもしれませんがそういうことも考  
えられるので、速やかに議会に報  
告するよう重ねてお願い申し上げます。

次にまいります。トンネルコンポ  
スト方式に変更する場合、1市4  
町のごみを一つの場所にまとめて  
処理するのではなく、各市町で  
ごみ処理施設を設置し、各市町  
でごみを分散処理することで、  
ごみ運搬距離の至近化や一つ

のごみ処理施設のごみ処理量を減少することで、安定したごみの処理が可能になり、分散処理することで大きなメリットを生むと考えられます。各市町でなくても、例えば、2か所や複数の場所での分散処理の可能性について、今回の委託に含まれているのか答弁をお願いします。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) この委託業務は、当圏域内のトンネルコンポスト方式での実現可能性を検証し、どの程度の施設規模が必要かを調査するもので、分散処理の可能性を調査するものではございません。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 今回の調査の中に分散処理は含まれず、あくまでも1市4町でまとめた処理ということで、よろしいですか。再度確認です。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) はい。今回は広域としての調査ということで考えております。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 調査結果によっては、分散処理もそのあとに改めて検討課題になるかもしれないという可能性については、どう思われているのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) そちらにつきましても、今回の調査結果を踏まえまして、検討していくことだと

思いますので、いまの段階では分かりかねるところでございます。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 次に移ります。中項目2、今後のスケジュールについて。細項目1、トンネルコンポスト方式について、今後の審議等のスケジュールはどのように考えておられますか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 今回の委託は、トンネルコンポスト方式の実現可能性を検証するもので、そのスケジュールまでは未定です。今年度末を目途に判断材料を集めていきたいと考えているところです。

○議長(杉原祥浩君) 伊藤議員。

○15番(伊藤容子さん) 調査の結果が出ないと、はっきりとしたことが言えないと思うのですが、今年度を目途に一つの判断材料をとという答弁ですが、現在のストーカ方式のスケジュールでは、令和11年がしゅん工ということで、彦根市の焼却炉が非常に青色吐息で修理費もかさんでいて、本当にそれまでもつのかという状況です。あまり時間の猶予がない状況の中、このトンネルコンポスト方式について一定の最終決定を出さないといけない目安があるのではないかと思うのですが、決定についての目安とかは、お持ちでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 先ほど、今年度末を目途に判断材料を集め

ていくと申し上げました。令和 11 年度稼働を目指して、そうしたスケジュールの関係がございますので、一定の判断材料について年度末を目指して集めていきたいと考えているところでございます。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15 番（伊藤容子さん） 年度末というのは3月ということですよ。ということは、年度末までに最終決定をしたいという意向ではないのですか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 調査、検証結果がまとまってくるのが年度末ぐらいになるということで、判断にはそれから一定の時間を要すると考えております。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15 番（伊藤容子さん） 結果が3月末までに出てきて、来期のどのくらいまでに一定の目途というのは、ないのですか。結果の内容によっては非常に長く審議をする必要があるなどという答弁になるのですが、どうなのでしょう。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） そのことにつきまして、現段階では3月末を目途に判断材料を集めまして、もしそこでも材料が集まらないようでしたら、延ばしてということもあり得ますし、その辺りは先ほども申しましたように、現有施設の現状を鑑みまして、できるだけ早く一定の方向性を示していきたいと考えております。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15 番（伊藤容子さん） 判断材料が出てくるのが3月末ということで、その後、専門家の審議を長いことかけてしたのですが、それに関しても同じように専門家の審議が始まると考えてよろしいのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 今回のトンネルコンポスト方式が採用された場合ということで捉えますと、全く処理方式が変わってきますので、確かに様々な事務手続きが必要になってくると考えております。ですので、現段階でそのスケジュールは未定となります。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15 番（伊藤容子さん） いまの説明を聞きますと、判断材料が今年度中に出るとということで、その後どれだけ専門家、市民を交えて丁寧な審議をされるのが全く描かれていないので、出てきた調査結果について、第三者である専門家の意見が非常に大切になると思います。新たに実行しようと踏み切ったときに、あわよくばモデル都市なんですけど、勇み足で1市4町でやった結果、あとの人達が大変な思いをしないように慎重な検討をしていただきたいと思い、質問をさせていただいております。現在、審議のところはあまりお考えでないようなので、将来1市4町の住民に負担をかけないように、この判断はよかったなと言えるように慎重に審議をしていただきたいと

思います。

次です。現在ストーカ方式で進んでおります。先日、専門の審議会においても進行中と伺っておりますが、ストーカ方式とトンネルコンポスト方式のスケジュールの関係について考えを示してください。

**○議長(杉原祥浩君)** 建設推進室長。

**○建設推進室長(牛澤史幸君)** 今回のトンネルコンポスト方式の当圏域での実現可能性調査検証委託事業については、これまでの熱焼却方式と並行して検討を行うもので、今年度末を目途に調査により材料を集め、また一方、熱焼却方式につきましては費用を削減できることがないかを検討し、来年度の早い段階でこの二つのごみ処理方式についての判断を行い、一定の方向性をお示ししたいと考えています。いずれにしましても、令和11年度の新ごみ処理施設稼働の予定に影響が出ないように進めてまいりたいと考えております。

**○議長(杉原祥浩君)** 伊藤議員。

**○15番(伊藤容子さん)** 分かりました。もう一度確認です。年度末にトンネルコンポスト方式の判断材料が出たから、丁寧な審議をすることによって、最終決定されると思うのですが、来年度の早い段階で決定という答弁がありました。それは審議をしないというかたちに聞こえます。審議と来年度の早い段階での決定のどちらを優先して考えるのか、もう一度見解を教えてください。

**○議長(杉原祥浩君)** 安藤副管理者。

**○副管理者(安藤博君)** 先ほど建設推進室長の方から答弁してまずとおりに、この補正予算に関しては、あくまでもトンネルコンポスト方式の可能性についてコンサルタント会社を通じて調査委託をさせていただきたいという提案でございます。コンサルタント会社から年度末を目途に出していただいた成果物の内容につきまして、当然議会の皆様と審議させていただくかたちになると考えております。地方自治法第96条第2項の議決事件にこの件は関係することでございますので、議会の皆さんとしっかりと審議させていただきたいと考えております。

**○議長(杉原祥浩君)** 伊藤議員。

**○15番(伊藤容子さん)** しっかりと審議するということは、なるべく早い段階という意向ではなく、時間をかけてしっかりと審議をしていただけないでしょうか。

**○議長(杉原祥浩君)** 安藤副管理者。

**○副管理者(安藤博君)** あくまでも、令和11年という期限を切られている案件でございます。その中で、当初の目的であります、二酸化炭素排出量の削減、そして高騰している建設費用の削減の一つの手法として、補正予算を上程させていただいていることとでございます。したがって、いたずらに延ばすということではなく、令和11年度に間に合うように審議をさせていただくということで、ご理解

賜りたいと思います。

○議長（杉原祥浩君） 伊藤議員。

○15番（伊藤容子さん） いたずらに長い時間をかけるのではなく、短い時間、回数を重ねてしっかりと審議をすればいいわけです。専門家を交えて期限に間に合うように審議をしていただき、その間ストーク方式もどうなるか分からないので、しっかりと進めていただけるようお願いいたします。これで終わります。

○議長（杉原祥浩君） 続きまして、17番瀧すみ江さん。

○17番（瀧すみ江さん） 大項目1、議案第10号 令和4年(2022年度)彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算(第2号)について。中項目1、好気性発酵乾燥方式について。細項目1、先日の全員協議会で好気性発酵乾燥方式を採用している香川県三豊市のバイオマス資源化センターみとよに管理者、副管理者、組合議長、組合職員が視察してこられたそうですが、視察に行かれた結果、どういうことを得たのかについて答弁を求めます。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 三豊市の民間施設バイオマス資源化センターみとよへ視察にまいりまして、この施設は微生物を利用した簡素な構造で施設運営に必要な人員も少なく初期費用やランニングコストも抑えられている印象を受けました。また、生成した固形燃料は、近隣の製紙工場等で石炭の代わりとして有効活用さ

れていることから、二酸化炭素の排出を抑えた低炭素社会への取組に大変寄与されている施設であると感じたところです。

○議長（杉原祥浩君） 瀧議員。

○17番（瀧すみ江さん） それでは、細項目2、先ほどの伊藤議員の質疑と重複しているところがあると思いますが、この処理方法のメリット、デメリットについて見解を求めます。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 現時点で想定されるメリットとしましては、ごみを燃やすという工程がないため煙やダイオキシンが発生しないこと。施設内で発生する処理水を循環利用することにより場外への排水が出ないこと。発酵熱の利用により乾燥工程で化石燃料を使用せず、生成した固形燃料は化石燃料の代替として利用されるため、ごみ処理場と固形燃料の利用先の双方で二酸化炭素の排出を抑制できること。ほかの処理方式と比較して複雑な設備等を要しないため初期投資費用が安価で、また、ランニングコストも抑えられることのほか、設備の補修対応にも優れているということでございます。

一方、デメリットとしましては、先の伊藤議員のご質問にもお答えしたとおり、ごみ処理後の固形燃料の引取先の安定的な確保や整備にある程度の敷地の確保、発酵に際し発生する臭気への対策が課題であると考えているところです。

○議長（杉原祥浩君） 瀧議員。

○17番（瀧すみ江さん） 細項目3、補正予算の資料で全議員の視察費用が出てきておりますので、先ほど説明いただいたように、視察に伺うことになるのですが、事前に視察先の細かい資料を揃えていただいた方がよく調べて行くことができます。事前に資料を揃えていただくことと、視察に伺ったあと、議会と当局が協議の場を持つことについて見解を問うのですが、答弁をお願いします。

○議長（杉原祥浩君） 総務課長。

○総務課長（谷村雅史君） 議員ご質問の事前に細かい資料を揃えることにつきましてお答えさせていただきます。好気性発酵乾燥方式は先進的な取組であり資料が少ないことから、今回あらかじめ全議員に、先に組合職員がバイオマス資源化センターみとよに視察した際に頂戴したパンフレットを複写したものと組合職員が作成した説明資料を配付させていただきました。

この度の視察研修は残念ながら中止になりましたが、年度内に視察の受入れが再開されましたら、改めて全議員に視察研修をお願いすることとし、理解を深めていただこうと考えていますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

続いて、事後に議会と当局が協議の場を持つことにつきましては、彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則第35条において全員協議会を設けてお

ります。提出議案の概要について必要に応じて理事者から説明を受けたり、議会の運営に関する議員間の意見の調整を図るほか、行政上の重要な課題について協議または調整を行うことを目的で設けております。従いまして、別に協議の場等を設けることは考えておりませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○議長（杉原祥浩君） 瀧議員。

○17番（瀧すみ江さん） それでは、細項目4にまいります。固形燃料については、近くにリバーセンターという参考事例があります。今度検討される好気性発酵乾燥方式によりできる固形燃料の名前はR P F。リバーセンターで作られているのはR D Fという名前で成分に多少違いがありますが、プラスチック類等が含まれている固形燃料に違いはありません。リバーセンターでは、固形燃料の買い手が常に県外の企業であり定着していないのが現状です。私が議員になった頃、ちょうどリバーセンターができて、この固形燃料は地元で消費するというので、専用の焼却炉を作りいろいろ熱利用をされるという話があったのですが、それがかなわないために県外に持ち出すことになってしまいました。その固形燃料は1トン500円で専門の企業に買ってもらい、リバーセンターは1トン4,950円の送料を支払っております。令和3年度ベースの決算で固形燃料の売却代が244万5025円。そしてR D F配送委託費

が2,453万3,267円。差引きするとマイナス2,208万8,242円という大きな赤字になっております。私はこういうことを繰り返すことになるのではないかと懸念しております。このことについて見解を問いますが、答弁をお願いします。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 議員ご指摘のとおり、固形燃料の安定的な引取先の確保が、当組合でも取り組むべき課題と認識しており、この委託業務の中で調査、検証をする予定です。

○議長(杉原祥浩君) 瀧議員。

○17番(瀧すみ江さん) 細項目5に移らせていただきます。三豊市では、大手製紙会社との引取先が確保できている状況で行われているということですが、もし、この方式に進んだ場合は、近隣で引き受ける企業の確保が前提になると思います。それがないと本当に大きな赤字を生むことになりかねないので、建設費は高くないとしても、できたあと来世に渡り赤字を生むことになりますので、大前提として近隣で引き受ける企業の確保が必要になると考えております。これから、検証される段階ですので、そのように進んだ場合、近隣で引き受ける企業の見通しがあるのかについて答弁を求めます。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 固形燃料の引取先につきましては、今回の委託事業において、仕様の中に固形燃

料の使用動向や近隣地域での需要先の事業者調査も含めており、コンサルタント会社に十分検証していただくことを予定しています。

○議長(杉原祥浩君) 瀧議員。

○17番(瀧すみ江さん) 次の細項目6ですけど、固形燃料はプラスチック類が含まれていますので、ダイオキシン類を発生させないための対策として特別な専用焼却炉が必要になるということを前から聞いております。製紙会社とかが引き取っていると思いますが、そのような認識は持っておられるのかについて、答弁を求めます。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 固形燃料については、利用先で対応する設備が必要なことは認識しており、需要先企業についても、コンサルタント会社に調査していただくことを考えております。

○議長(杉原祥浩君) 瀧議員。

○17番(瀧すみ江さん) 検証の段階ですので、とにかく慎重に事業を進めていただきたいと思います。

細項目の7ですけど、今年の3月に彦根愛知犬上地域一般廃棄物処理基本計画が出されました。ごみの減量化や分別の方針が出されました。どんなことがあっても計画で決められたごみ減量化と分別の方針をはずさないことを求めますが、その見解について答弁を求めます。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 彦根

愛知犬上地域一般廃棄物処理基本計画は、1市4町で策定されたもので、ごみ減量と分別の方針につきましては、各市町の判断、事務となります。当組合としましては、1市4町のごみ減量、分別の方針に沿った施設の整備推進に取り組んでいきたいと考えているところです。

○議長（杉原祥浩君） 瀧議員。

○17番（瀧すみ江さん） これで終わります。ありがとうございました。

○議長（杉原祥浩君） それでは、コロナ対応としまして、10分程度換気と休憩をとらせていただきます。

---

〔午前10時27分休憩〕

〔午前10時38分再開〕

---

○議長（杉原祥浩君） 休憩前に引き続き会議を開きます。5番角井議員。

○5番（角井英明君） 大項目1です。業務委託を考えているコンサルタント会社について。全員協議会で委託先がエックス都市研究所であることを明らかにされました。今までの答弁を聞いて好気性発酵乾燥方式に精通していることが分かったんですけど、この会社はどういった目的で設立されたのか。今までどういった業務を手掛け、どんな実績があるのか分からないと、自信をもって補正予算案についての態度が決められないので説明を求めます。中項目1、エックス都市研究所について。細項目1、この会社の設

立目的を教えてください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 公開された情報によりますと株式会社エックス都市研究所は、「環境・エネルギー・資源」「都市空間・地域社会」「途上国支援」の三つの領域に関わる様々な課題解決のため、実践的な処方箋づくりや計画、プロジェクト形成、事業展開支援および基礎調査研究、分析を行うことを目的として設立されたコンサルタント会社です。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 細項目2です。環境を考え持続可能な社会を作っていくということで、環境問題に特化した会社だと理解しました。環境やごみ削減にどういった考えを持っているのか教えてください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） エックス都市研究所は公開された情報によりますと、まず環境についての考え方として、現在の環境問題は人々の生活、社会の仕組みに起因するものとし、持続可能な社会を具体化することが求められていることを前提として、「暮らし続けられる社会、暮らし続けたい社会づくり」を目指すことを環境基本理念、方針として示されてます。

次に、ごみ削減に特化した考え方については確認ができませんでしたが、素材に着目したリサイクルの高度化による地域循環圏の形成に関する提案を業務の中で行うなど、国が進める

循環型社会の形成推進に貢献されておられるものと認識しています。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） ありがとうございます。細項目3です。国や多くの自治体が脱炭素社会を実現し、そのことで持続可能な社会を作っているとしています。同じスタンスのエックス都市研究所への業務委託が増えているのではないかと思います、実際はどうなのか教えてください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） エックス都市研究所の受託業務につきましては、都市計画および地方計画、廃棄物、建設環境、下水道部門に係る委託業務などを受託されているものと理解しております。このうち、廃棄物に関する業務につきましては、一般廃棄物、産業廃棄物に関する処理計画、施設整備計画、施設運営・維持管理計画策定、事業の立ち上げ支援などを行ってまいります。このほか廃棄物処理施設整備に必要となる生活環境影響調査や環境影響評価業務についても行われております。当組合におきましても、平成28年度に循環型社会形成推進地域計画（変更）策定等業務の委託実績があるところです。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 再質問です。今までエックス都市研究所と広域行政組合が進めている事業とで、関わりがあったということですね。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） はい。先ほど申し上げたように、平成28年度に循環型社会形成推進地域計画変更策定等の委託業務の実績がございます。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） では、細項目4です。意欲的に脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいるエックス都市研究所について広域行政組合は、どのようにこの会社を認識しているのか教えてください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） エックス都市研究所におかれましては、先に申し上げましたが、平成28年度に当組合において循環型社会形成推進地域計画策定業務を着実に実施いただきました。そして、廃棄物に関連した業務のうち、好気性発酵乾燥方式に関する業務につきましては、同方式で国内唯一の稼働施設となります、バイオマス資源化センターみとよの運営支援業務を受託されていることから、トンネルコンポスト方式について精通したコンサルタント会社であると評価しています。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 細項目5です。業務委託をするのは、好気性発酵乾燥方式が本圏域内で実現可能性のあるものかどうかの調査、検証等だけですが、それ以外の本圏域内に合った方式がないかなどの業務委託はしないのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。  
○建設推進室長(牛澤史幸君) ご質問のとおり、今回の委託仕様の中では、トンネルコンポスト方式の本圏域での実現可能性について調査、検証を行うものとなっています。  
○議長(杉原祥浩君) 角井議員。  
○5番(角井英明君) 再質問です。資料には検証等とありますが、いまの答弁を聞いたら、この「等」は無いようですけど、どういうことでしょうか。  
○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。  
○建設推進室長(牛澤史幸君) 今回の補正で上程させていただいたことは、トンネルコンポスト方式の検証だけとなっております。  
○議長(杉原祥浩君) 角井議員。  
○5番(角井英明君) 分かりました。11月12日の産経新聞にこんな記事がありました。「世界初リサイクル紙おむつ、焼却炉がない町から商品化へ」という記事ですけれど、鹿児島県の志布志市と大崎町は焼却炉がなく、今までは埋め立て処理をしてきたそうです。でもこのままでは埋め立て場所がなくなるという危機感をもって、2010年からリサイクルを推進して27品目の分別回収を行い、現在は25品目をリサイクルしているそうです。2018年のリサイクル率の全国平均は20%ですが、83.1%になるらしいです。しかし、紙おむつは埋め立てをするしかなく、これから使用済み紙おむつが増えてくるので、その分別回収とリサイクルの実証実験を行って、介護施設での

試験的な使用を経て商品化の目途が立ってきたそうです。持続可能な社会の構築に向けてアンテナを高くしているエックス都市研究所です。好気性発酵乾燥方式以外の可能性も調査、検証できる会社だと思うので、いま紹介したような調査もいい機会であり、依頼したらどうかと思うのですが、見解はいかがでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。  
○建設推進室長(牛澤史幸君) 先ほども申し上げたとおりトンネルコンポスト方式に精通したコンサルタント会社ということでお願いをすることを予定しておりますので、そちらのことにつきましては、まだ考えていないところです。

○議長(杉原祥浩君) 角井議員。  
○5番(角井英明君) 細項目6です。エックス都市研究所と株式会社エコマスターとの関係を教えてください。株式会社エコマスターはこの好気性発酵乾燥方式をイタリアで学んできたとありました。脱炭素社会を実現し環境問題を解決するための取組を多くの企業や研究所が取り組んでいると思います。エックス都市研究所と株式会社エコマスターと一緒に取り組んだ事業があるかもしれません。両者の関係を分かる範囲で教えてください。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。  
○建設推進室長(牛澤史幸君) エックス都市研究所におかれましては、好気性発酵乾燥業務に関する業務とし

て、バイオマス資源化センターみとよの運営支援委託業務を受託されています。また一方、株式会社エコマスターにおかれましては、バイオマス資源化センターみとよの運営事業者であることから、三豊市においては、当該委託業務の委託者、受託者の関係です。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 大項目2です。好気性発酵乾燥方式について。全員協議会で好気性発酵乾燥方式の説明があると思っていたのですけどありませんでした。事前に資料を渡しているのだから理解しているはずと思われていたのでしょうか。予算の削減ができ、二酸化炭素を出さないという良いことづくしの好気性発酵乾燥方式のようですが、だからこそ詳しい説明が必要だったと思います。なので、以下質問します。中項目1、好気性発酵について。細項目1、好気性発酵とはどういうことか教えてください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 好気性発酵とは、空気のある状態で活動する微生物の働きで、処理対象物の有機物を分解し、発酵する過程の中で悪臭を軽減し取扱いを容易にするものです。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 僕もネットとか見ていたんですけど、好気性発酵と対になる嫌気性発酵というのがあるようですけど、それについても説明してもらってよろしいでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 嫌気性につきましては、酸素を嫌う微生物ということで聞いておりますが、詳しくは分かりかねます。申し訳ございません。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） ありがとうございます。

細項目2です。この好気性発酵方式を利用した処理に適したごみは、どういったものがあるか教えてください。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 好気性発酵乾燥方式、いわゆるトンネルコンポスト方式等を利用した処理に適したごみについては、金属、ガラス、陶磁器や特に塩化ビニールなどが含まれない、一般的には燃やすごみとなります。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 昔からされてきたぼかしを使った生ごみの堆肥化も好気性発酵を利用した処理だと思います。考えてみたら、どれも自然にあるもので、人工的なものはないと思います。嫌気性発酵というのは、酸素に触れさせずに発酵させることなんですけれど、建屋で人工的な人の手を加えて発酵させるということで、この好気性というのは、自然の力を利用した処理方法かと思います。

細項目3です。好気性発酵乾燥方式を利用した処理を取り入れることは、二酸化炭素の削減に貢献するのか教

えてください。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 好気性発酵乾燥方式を利用したごみ処理につきましても、発酵熱の利用により乾燥過程で化石燃料を使用いたしません。また、製造された固形燃料は化石燃料の代替として利用されるため、二酸化炭素の削減に貢献するものと考えています。

○議長(杉原祥浩君) 角井議員。

○5番(角井英明君) 生ごみを堆肥化するために好気性発酵が有効だということです。1市4町では、豊郷町が生ごみの堆肥化を行っています。ぼかし肥料を使って生ごみを堆肥化することで、燃やさないのが必然的に二酸化炭素の削減ができます。二酸化炭素の削減には、生ごみの堆肥化を大きく前進させることが大切だと思います。好気性発酵乾燥方式を取り入れるとしても、各市町で豊郷町のような取組を大きくしていくべきだと考えるのですが見解を教えてください。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 豊郷町さんが取り組まれている、ごみ減量化、生ごみの堆肥化につきましても、各市町の方でごみ減量を進めていただきまして、その上で当圏域から発生するごみにつきましても適正処理していくように考えています。

○議長(杉原祥浩君) 角井議員。

○5番(角井英明君) 中項目2です。好気性発酵乾燥方式が採用された場

合の建設費についてです。細項目1、先ほども伊藤議員の質問にもありましたけれど、これが採用されれば土地整備に費用が掛かるいまの建設候補地以外が候補地にあがってくるのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 伊藤議員のご質問でもお答えしましたように、今回の委託業務は、トンネルコンポスト方式に係る当圏域として必要な施設規模の設定や建設費用がどの程度になるかをコンサルタント会社に整理していただくものでございます。その後、ごみ処理方式について判断を行い、一定の方向性を示すためのものであることから、建設候補地の検討は入っておりません。

○議長(杉原祥浩君) 角井議員。

○5番(角井英明君) 説明書を見るとバイオトンネルは幅が6メートル、奥行35メートル、高さ5メートルです。三豊市では、これが6本ということです。処理量を考えると候補地の西清崎には何本くらい設置することになるのか教えてください。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) その件につきましても当圏域としてのごみ量等をコンサルタント会社の方で検証していただきまして、それに必要な面積ですね、それぞれトンネルがどれくらい必要なのか含めて今回の委託の中で検証していただくようになります。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 再々質問です候補地の広さや候補地までの運搬費などを考えると、これも伊藤議員が言ったんですけど、それぞれの市町でトンネルコンポスト方式を導入するという選択肢もできると思うんですけど、このことについて調査、検証をされるのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） まず、このトンネルコンポスト方式について、そもそも国内の実績が1例しかございませんので、情報収集をして、まず、こういった方式なのか理解を深めてから、そういったものの検討になると思います。現時点では、まず情報収集と当圏域のデータを当てはめて、検証が必要だと考えています。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 分かりました。

中項目3です。好気性発酵乾燥方式が採用された場合のごみの分別について伺います。細項目1、生ごみと紙そしてプラスチックを資源化すると、今まで積み上げてきた分別が後退するのではと心配になります。生ごみ、紙、プラスチックの分別は従来どおり行うのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 1市4町が昨年度に策定されました彦根愛知犬上地域一般廃棄物処理基本計画によりますと、新ごみ処理施設においては、脱炭素やプラスチック資源循

環促進の流れに即して、生ごみや紙の分別とともに容器包装プラスチックに硬質プラスチックを加えたプラスチック類を分別、資源化していく方針とされています。この基本計画の分別方針に沿って、好気性発酵乾燥方式の検討を行っていきたいと考えています。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 細項目2です。

生ごみと紙そしてプラスチックを一緒にすると、一般廃棄物処理基本計画の減量目標15%が達成できないかもしれないと危惧をします。減量目標が後退してしまうことはないのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 彦根愛知犬上地域一般廃棄物処理基本計画において、1市4町が設定された、令和13年度に令和元年度ごみ量実績値から15%減量するという目標値につきましても、当組合が彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設整備基本計画において検討し、設定した施設規模を基に、その規模から垂離せず、かつ、実現可能な減量目標として設定されたものでございます。処理方式が好気性発酵乾燥方式となった場合においても、ごみ減量については、1市4町が優先して取り組んでいかれるものと認識しております。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 細項目3です。

好気性発酵乾燥方式の説明写真を見

ると、分別がされていないごみ袋を破砕、混合しているように見えます。ごみの抜本的な減量計画の策定を求める請願が3町で可決され、圏域内でごみの分別が徹底され、ごみの削減が進むと思われれます。ごみの削減が進んだときでも、生ごみ、紙、プラスチックを一緒に破砕、混合する好気性発酵乾燥方式は有効なのでしょうか教えてください。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 先ほどもご答弁申し上げましたように、好気性発酵乾燥方式となりましても、1市4町のごみ減量方針に沿った新ごみ処理施設を整備してまいりたいと考えております。

○議長(杉原祥浩君) 角井議員。

○5番(角井英明君) 分かりました。生ごみは必ず出てくると思います。紙も減るとはいえ出てきます。プラスチックは、分別の徹底や拡大生産者責任が広がっていけば、生産者が回収、再生することになって大幅に減ると考えられます。そうなるように努力する必要があるし、そうなったときのことでも考えておく必要があると思います。

大項目3に入ります。11月補正予算の概要には、斎場と投棄場の管理費について昨今の円安および原油価格の高騰等により燃料費および光熱水費が予算額を上回る見込みであるため補正するものとあります。現在の円安や原油価格の高騰が続く可能性もあり、終息したとしても、いつまた円安

や原油価格の高騰が起こるかもしれないが管理費が増えることが考えられます。1市4町の財政を考えると、早急に何らかの手立てを考える必要があるとの思いで以下質問します。

中項目1、円安および原油価格の高騰による燃料費および光熱水費の増額について。細項目1、円安および原油価格の高騰はいつまで続くと考えているのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 総務課長。

○総務課長(谷村雅史君) 円安および原油価格の高騰につきましては、依然として緊迫する世界情勢の影響などから、しばらく続くものと考えております。

○議長(杉原祥浩君) 角井議員。

○5番(角井英明君) 細項目2です。管理費を抑えるための方策を考えているのでしょうか。1市4町の財政もありますので、管理費を抑えるための方策を考えていかなければならないと思いますが、どうでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 総務課長。

○総務課長(谷村雅史君) 日頃から彦根愛知犬上広域行政組合では、節電対策に取り組んできました。紫雲苑では、火葬するときの燃料の使用をできるだけ削減するように取り組んでいます。また、中山投棄場では、埋立終了から6年が経過しているため埋立処分地からの浸出水にダイオキシン類や重金属類などがほとんど含まれなくなっていることから、浸出水処理施設における工程の縮減を行っ

ています。さらに、各施設の照明器具をLEDに変更したり、エアコンの設定温度を見直すなど、より一層の節電対策に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） 斎場の光熱費は太陽光発電でも補うことが可能だと思います。そういうことも検討に値すると思うのですが、もう一度見解をお願いします。

○議長（杉原祥浩君） 総務課長。

○総務課長（谷村雅史君） 太陽光発電の設置についても一つの方策かと思えます。これから広域行政組合でも考えていきたいと思えますが、いまのところは、一つの方策として伺わせていただきたいと思えます。

○議長（杉原祥浩君） 角井議員。

○5番（角井英明君） ありがとうございました。よろしく申し上げます。

○議長（杉原祥浩君） 続いて、6番西澤申明議員。

○6番（西澤申明君） 6番西澤です。議案第10号について質問させていただきます。10月31日の全員協議会で、好気性発酵乾燥方式（トンネルコンポスト方式）の調査、検証を始めるとした説明がなされました。今まで進めてきた大型焼却炉で連続運転する方式から路線変更の検証を始めようとする当局の姿勢を歓迎するものです。しかし、路線変更には、いくつもの難しい課題が残されていると思えます。今

日は議題となっている議案第10号の範囲で不明な事項について説明を求めたいと思えます。

中項目1、好気性発酵乾燥方式検証等業務についてです。細項目1、好気性発酵乾燥方式を検証するとなった中心的な理由を二つ述べられたと思いますが間違いございませんか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） ご質問のとおり、検証するとなった理由につきましては、地域全体として二酸化炭素排出量の削減による環境負荷の低減効果が期待でき、また、1市4町の厳しい財政状況の中、できる限り財政負担を軽くするためが主な理由でございます。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤申明君） 二つの理由から、この決断をされました。しかし、二つの方式を平行して進めるという点で、若干の疑問を感じております。そこで、全員協議会において予想される費用が基本計画の約200億円から250億円に、それから、管理棟などを入れると290億円と説明されました。この積算の中には、造成費、用地取得費があります。そして、軟弱地盤ですので、そこの改良費それから杭打ち費用なども290億円に入っているのかどうか、その点の説明をお願いいたします。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 令和元年10月に策定しました新ごみ処理

施設整備基本計画においての事業費約 200 億円につきましては、平成 29 年度に愛荘町竹原区が候補地であった際に各プラントメーカーから概算見積りを徴取した額でございます。その後、東京オリンピックの開催や働き方改革および現場での人手不足に伴う建設費の高騰、さらに、コロナ禍による資材費等の高騰が報じられたことにより、整備費用の増額を懸念したことから昨年 8 月に再度見積りを依頼しました。その概算見積りの結果、熱回収施設、リサイクル施設および計量棟など約 250 億円と推定したものです。さらに、管理棟や外構工事、造成工事の分を加算すると約 290 億円と推定されることとなったものです。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6 番（西澤伸明君） そうしますと、概算の 290 億円の内訳というのは、説明できますでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 金額ということではお答えできませんが、先ほどおっしゃられた増えた 40 億円につきましては、管理棟であるとか軟弱地盤の改良対策工事費の部分が含まれて、今回の 290 億円という金額になっております。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6 番（西澤伸明君） 実施設計の委託をされていますので、正確にその額が出てきますと跳ね上がる場合もあるということですが、この 290 億円の中には、彦根市が 27 億円と発表さ

れているアクセス道路も含まれているのかいないのか、どうでしょう。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） アクセス道路につきましては、今回の積算には含まれておりません。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6 番（西澤伸明君） 分かりました。それでは、次に行きます。今回予定しているエックス都市研究所との契約が成立すれば、パシフィックコンサルタンツとの契約を解除することになるのかどうか。並行して進むのであれば、契約が切れる時期など、どのように考えているのか説明をお願いします。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） エックス都市研究所に委託します業務は、当圏域内におけるトンネルコンポスト方式の実現可能性を検証するものでございます。熱焼却方式につきましても、新ごみ処理施設の令和 11 年度稼働に向けて遅延が生じないように並行して進めたいと考えており、処理方式の方針が決まるまでは、パシフィックコンサルタンツとの契約は解除いたしません。今年度末を目途に調査により材料を集め、来年度のできるだけ早い段階でこの二つのごみ処理方式についての判断を行い、一定の方向性をお示ししたいと考えております。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6 番（西澤伸明君） そうしますと、次の 4 番と関連しますけれど、パシフ

フィックコンサルタンツに対する業務委託の契約がこの年度末で切れて、新たな契約や事業の委託は発生しないと理解しているのでしょうか。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 契約が年度末に切れるのではなくて、判断材料を年度末まで集めた上で来年度の早い段階で判断し、一定の方向性を示すというかたちですので、契約が切れるということではございません。

○議長(杉原祥浩君) 西澤議員。

○6番(西澤申明君) 分かりました。そうしますと、年度末で契約が切れるわけではなくて、検証が整い当局が議会と協議しながら判断をしていく中で、パシフィックコンサルタンツとの契約が終了すると。年度内に新たにパシフィックコンサルタンツへの委託は発生しないと理解しているのですか。改めて聞きます。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 今の現契約で継続して進めておりますので、新たにパシフィックコンサルタンツと委託契約を結ぶということではございません。

○議長(杉原祥浩君) 西澤議員。

○6番(西澤申明君) それでは細項目4番、伊藤議員が質問されましたように、準備書を提出し県の審査まで進んでいます。当初の計画に基づく造成等実施設計業務などの支出は、一旦停止をする必要があると思います。契約を履行している最中ですので、なかなか

か難しいですけど、いまの答弁でいきますとこの検証中に新たな事業、新たな委託は発生しないということで理解をするのですが、従来事業と平行になると無駄になってしまうという点で、私は少なくとも今までの熱焼却方式の流れで進めてきたのは一旦止まると。中止するのは難しいと思います。しかし、解除もあり得るという立場を残して、やはり特化して検証していくということからみたら、一旦立ち止まるという表現も大事なことだと思いますので見解をお願いします。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 今日まで、新ごみ処理施設整備基本計画の方針に基づき、事業を進めてまいりました。現有施設の老朽化が急速に進む中、一旦、立ち止まることで新ごみ処理施設の供用開始が遅れることになり、住民の負担が増えるリスクを考えますと、処理方式の検討を並行して進めていくことが必要であり、費用の無駄にはつながらないものと考えています。

○議長(杉原祥浩君) 西澤議員。

○6番(西澤申明君) 5番に進みます。今回示された方式を推進する転機の一つとして、これまで努力をされてきた杉山室長と近藤局長の異動の発表がこの時期にあったことが異例に思いました。杉山室長の退任の挨拶をここで受けました。今まで4年と半年進めてきたことを転換して職務を行うことは、なかなかない話です

から、やはり別の業務に異動したと理解するのですが、真相はどのようなのでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 総務課長。

○総務課長（谷村雅史君） 議員ご質問の人事異動につきましては、先の彦根愛知犬上広域行政組合議会全員協議会において、管理者の方からお答えさせていただきましたとおり、適材適所ということで、より最適な人材を配置することを考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤申明君） 分かりました。本人としましたら4年7か月。何回も住民の方々、また、議員と話をされてこられました。誠実に対応し、当局の方針を実行するというので気張ってこられた職員だと思います。立場が違いますが、そういう点で新しい方式を検証していくことの切り替えを一人の職員の肩に担わせるのは辛いことだと当局の方が考えた結果かなと思います。

それでは6番目です。三豊市が実施している方式にたどり着く以前に、いくつかの処理方式を比較検討したと思われるが、議員と共有したいのであれば、その全ての検討過程を明らかにして、それぞれの長所や短所、特徴や問題点を報告して議会で専門家や学者などを交えて議論と検証を重ねることが重要と考えますが、この見解を求めます。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 処理方式を含め新ごみ処理施設の整備につきましては、今まで本組合の議会におきましてご説明してまいりました。今後この議会の場で議員の皆様と情報を共有できるようご説明に努めていきたいと考えております。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤申明君） この6番に関連して、このあとに私は動議を予定しておりますけれど、この新ごみ処理施設、そして、新しい方式の検証を始めるということからみれば、いろんな角度で検証が必要かと思っています。その点で学者や経験者の方、もちろん三豊市の設計をされた方、または運営をされている方の会議への出席を求めるといことも議長として、できると思いますので、後ほど提案をしていきたいと思っておりますのでよろしく願います。

7番目にいきます。好気性発酵乾燥方式の処理後に形成される工業用RPF、RDFと名前をわざわざ分けている意味を十分理解できていません。しかし、これらは万全ではないと考えられます。それは、一つ目に最終的には焼却をすることです。二つ目に域外つまり固化して県外に搬出をして、そこで焼却をしてもらうということで、CO<sub>2</sub>がここでは出ないけど、どこかで出ます。CO<sub>2</sub>は世界に広がります。三つ目に固形燃料となる内容物に紙や廃プラなどが混入されていま

す。熱効率を上げるために、固形燃料に廃プラが必要となるおそれが出てまいります。ですから、四つ目に廃プラスチックの分別回収が崩れてくる可能性があります。つまり、まとめて出すと便利ですが、分別すると面倒ということになりますから、こういう点で検証していくことが大事かと思えます。そして五つ目にRPFの買取先、つまり引受先が近辺にあるのかどうかという点も懸念材料です。RPFに対応する特別な炉が必要です。そういう点で、これに対応できる企業は限られてまいります。ですからRPFやRDFの場合も撤退する企業が以前、相次いでありました。リバーセンターもその憂き目にあってきたところです。そういう点でこのような懸念への対応が必要になると思えますが、その対応策をいまの時点で考えておられるのか。当局として認識があるのかどうかお尋ねします。

○議長（杉原祥浩君） 建設推進室長。

○建設推進室長（牛澤史幸君） 議員ご指摘の5点の懸念事項につきましても、今回のトンネルコンポスト方式の可能性調査において検証していただく事項だと考えております。コンサルタント会社に十分調査いただき、その対策を検討してまいりたいと思えます。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤申明君） 先ほど瀧議員の質問に対して、コンサルタント会社への委託内容に引受先についても検

証するとの答弁ですけど、当局側として現在、引受先をどのように選定するのか、ないしは、引受企業が近辺にあるのかどうかという認識はどうなんでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 管理者。

○管理者（和田裕行君） 相手方があることなので具体的な企業名とかは言えないのですが、全くゼロではなく、本当に今回の方式は、いろんな反省の上に成り立っております。当然リバーセンターも含めてです。何回もちゃぶ台返しで延びてきました。だから、いま290億円と言っているけれど当時造っていたら200億円でできたかもしれないです。いろんな制約がある中でも、どうしても進めなければいけないことで、受入先等々の情報は十分に収集して何重にも可能性を考えています。例えば稼働したときに受け入れてもらっていても持続可能かどうかということを考えなければいけない。さらに、ほかの方式も考えなければいけないという部分は十分に検証しながら進めているところです。

少し話がそれるかもしれませんが、そもそもヨーロッパでは当たり前の方式です。例えばデンマークでは、トンネルコンポスト方式により地域の発電が当たり前に行われています。だから、何も新しい特殊な技術があるということではなく当たり前の技術があるので、そういった部分の情報収集というのは非常に必要ですので、コンサルタント会社と話し合いながら進

めていきたいと思ひます。

世界中の焼却炉の70%は日本にあります。80億に達しようとしている人口のうちで日本というのは、70分の1くらいの人口しかなくて、陸地の面積で言ったら360分の1くらいしかないところに70%の焼却炉があります。では、よその地域はどうしてきたのか。何千年にもわたる知恵等々ヨーロッパの常識というのもございますので、そういった部分も含めて検証していきたいと思ひますし、当然焼却だけに限らないですけど、今回のコンサルタント会社の検証の中で、これから大変過渡期で、ちょっと先進的になるというんですか、逆にいま焼却炉を造ったら目も当てられないくらいに状況にきているのも事実ですので、多少の困難は乗り越えていきたいと思ひます。私は一番大事なのは、営業だと思ひています。これだけ費用が安くなるのであれば、これだけでこの方式のボイラーを導入できるから脱炭素で化石燃料を燃やすよりも安いかどうかというような営業というのも必要になってくる。こういった方法で現有施設だけではなくて、企業側はこれから炭素税等というのが課せられます。水分を限りなく落とした固形燃料を燃やす先を企業等と検討していける機会は、これからますます引く手あまたになると思ひています。いずれにせよ、一定の目途を立てながら進めておりますので、コンサルタント会社に年度内に提示していただけるように

していきたいと思ひますし、それで我々が勝手に動くということではなくて、先ほどから申し上げておりますように皆さんに示してご納得いただいた上で、この方式が採用できるかどうかを決定していきたいと思ひています。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤伸明君） 私の質問に対する答弁の他に、この方式を考える基になったところを表明していただきましたが、和田管理者におかれましては就任されて1年半が経ちます。当初の公約によるとゼロベースから始めると。つまり、彦根市の財政状況が大変悪化をしている危機的状況の中でこういう公約をされて、この間ずっと検討されてきた結果だと思ひます。10月31日にトンネルコンポスト方式の検証の方向を初めて打ち出された、水面下でずっと関係者ならびに議会ともやり取りをされてきたのかなと思ひますけれども、やはり引受先がどうなるのかという点、それから耐える炉についてもどうか、それから炉だけでなく、いま言われた発電ですね。発電は大変効率が悪いですけど、そういう点で考えられたところかと思ひますので、その点も含めて議会と十分に議論できる場をもつていただきたいと思ひます。

8番目ですが、好気性発酵乾燥方式を選択する場合になっても、引き続きごみの減量、廃プラスチック等の分別回収は徹底する必要があると思ひま

す。もちろん、プラスチック資源循環促進法という法律もあります。そういう点でも、回収を徹底していくことが大事かと思いますが見解を伺います。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) 処理方式によらず、ごみの正しい分別やリデュース、リユース、リサイクルの3Rの推進によるごみの減量に引き続き取り組んでいただく必要があると考えます。

○議長(杉原祥浩君) 西澤議員。

○6番(西澤申明君) 私はこのごみ問題は、石寺のときから関わらせていただきました。最近では、徳島県の上勝町の元町長さんを招いた講演会を聞かせていただきまして、82%のごみの減量に成功されています。それであっても、やはり最後の2割ないしは3割近いどうにもならないごみは焼却として出てきます。そういう点でも、ごみの性質、それから、社会経済状況等で大きく変動します。現在、求められている気候変動を私たちが防止するという大きな流れに舵を切っていくことが、大事かと思いますが、

それで9番目、ごみ焼却の広域化事業が始まり大量焼却、24時間運転がずっと進められてきましたが、住民とともにごみ問題を考えるという姿勢を欠いてきたというのが私の思いであります。その点で費用と時間の浪費となってしまった。つまり、ごみを出すのは住民や企業です。その一般廃棄物処理に対する行政の姿勢の総括と検

証が必要かと思いますが見解を伺います。

○議長(杉原祥浩君) 建設推進室長。

○建設推進室長(牛澤史幸君) ごみ処理につきましては、本圏域では経済面や効率面の最適化を図ることを目的とし、広域的なごみ処理体制を構築するため、平成11年の滋賀県一般廃棄物処理広域化計画を契機に検討を進め、平成29年度には湖東地域広域ごみ処理施設整備基本構想を策定いたしました。令和元年10月には彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設整備基本計画を策定し、組合議会でのご承認を受け、新ごみ処理施設整備検討の取組を進めてきております。

今臨時議会においては、1市4町でのごみの適切な処理に向けて、熱焼却方式とトンネルコンポスト方式の実現可能性を調査、検証するための補正予算を提案し、これから検討を進めようとするところですので、総括と検証までは至っておりません。

○議長(杉原祥浩君) 西澤議員。

○6番(西澤申明君) 総括と検証まで至っていないと答弁されましたが、政治的に指導される立場の方は、過去の状況も十分に検証をして、ごみ問題を住民と一緒に考えるというスタンスでなければ解決できないと思います。ある経験者の方ですけど、学校単位でごみステーションを設置すると住民の意識が高くなり、こうしたことが大事だと指摘をされました。私たち住民は、ごみステーションにごみ袋

を出しに行ったら、それでおしまいです。その後どうなるか、よく考えている方はおられると思いますが、そうではないほとんどの方は、面倒くさい話ですから、そういう点で最後には私たちに悪い環境が回ってくるということを知りやすく行政が指導をして一緒に考えることが大事だと思いますので、是非、過去の検証もやっていく必要があることを提言させてもらい、これで終わらせていただきます。

**○議長（杉原祥浩君）** 以上で事前通告があった質疑が終了しました。

よって、議案第 10 号に対する質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「あり」と呼ぶ者あり）

**○議長（杉原祥浩君）** 暫時休憩いたします。

---

〔午前 11 時 32 分休憩〕

〔午前 11 時 34 分再開〕

---

**○議長（杉原祥浩君）** 休憩前に引き続き会議を開きます。

2 人の方から討論の申告がございましたので、順次発言を許します。

その順位は、6 番西澤申明君、2 番堀口達也君とします。

6 番西澤申明議員。

**○6 番（西澤申明君）** 6 番西澤です。議案第 10 号の提案説明がありました。新たなごみ処理方式であるトンネル

コンポスト方式の検証を開始することを明らかにされました。ごみ処理広域化の方針が出されて以来、一貫して大型施設での熱焼却方式を採用する方向で進めてきた当局の姿勢の転換を試みようとする、新たな処理方式の検証が遅きに失したとはいえ、語られたことに歓迎するものです。とりわけ、二つの要因をあげて検証を開始する説明をされました。すなわち、カーボンニュートラル、CO<sub>2</sub>を大幅に削減すること。新ごみ処理施設整備計画の総事業費の膨張による財政危機を回避しなければとする危機感を表明され、その実行の方向性を提起された決断と現局面を評価します。同時にごみ処理の課題は、個々の地域問題であるとともに、経済社会システムのあり方とも深く結びついており、気候危機打開の重要な一翼を担っていると言っても過言ではないと思います。

また、今回提起されたトンネルコンポスト方式の過程で形成される固形燃料 R P F については、科学的、技術的に完成されたものではないと思います。また、トンネルコンポスト方式を採用する場合、供給先の安定的な確保は、明確にしておかないといけない課題だと考えます。トンネルコンポスト方式の懸念される問題や課題等は議会と行政、専門家等を交えて十分に検討することが重要だと考えます。

私が現時点で明確に申し上げることは、リバースセンターの R D F のような、容器包装プラスチックや紙類の

全てを混在して各家庭から排出する方式に逆戻りしてはならないということです。

行政と住民が力を合わせて、既にいくつかの自治体で取り組まれているごみゼロ宣言の真髓を受け止めて、ごみの合理的な分別を実践し、ごみ半減を目指すことが重要だと考えます。何よりも、気候危機打開のために、CO<sub>2</sub>排出削減目標の達成と財政危機回避のための具体的な方針、方策を定められることを改めて強調して賛成討論といたします。

**○議長（杉原祥浩君）** 続いて、2番堀口議員。

**○2番（堀口達也君）** トンネルコンポスト方式の実現可能性の調査、検証に関する委託費および組合議員の視察費を含む議案第10号 令和4年度彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算について、大きく3点の理由から賛成討論といたします。

1点目は熱焼却方式だけでなく、セカンドオピニオンとしてトンネルコンポスト方式など別の方式を幅広く調査、検証する必要があるためです。まずは、実際に広域行政組合議員で三豊市の現場視察を行うことや1市4町で実現可能かどうか検証するためのコンサルタント会社への委託費は、判断する材料として最低限必要と考えます。

2点目は従来の熱焼却方式と違いトンネルコンポスト方式は、安価で環境にやさしい方式だからです。世間で

はSDGsといった持続可能な開発目標として、CO<sub>2</sub>の削減や環境に配慮した取り組みを進めています。トンネルコンポスト方式は、CO<sub>2</sub>の排出を抑制するだけでなく、排ガスやダイオキシン類が発生しない環境にやさしい方式です。また、生ごみが分解された後に残る紙やプラスチック類は石炭などの代わりとなる固形燃料となり、リサイクルの観点からも大きなメリットがあります。先ほどの質問の中でも、固形燃料の安定した引取先の確保が一つの懸念ではありますが、和田管理者が力強く答弁をされたように、今後しっかりと調査の対応をお願いします。

3点目はトンネルコンポスト方式が、1市4町の財政負担の軽減につながる可能性があるためです。オリンピック需要やコロナ禍による材料費の高騰により、各プラントメーカーの建設費用の概算見積が現時点で約250億円。さらに、造成工事や管理棟の整備費を含めると約290億円と推定されています。また、彦根市の実質公債費比率も令和3年の6%から18%を超えることが見込まれており財政的に相当厳しい状況でもあります。その点トンネルコンポスト方式は、複雑な設備を要しないため熱焼却方式と比べるとイニシャルコストが安価であります。また、運転に必要な人員も少なくランニングコストを抑えられることを考慮すると、1市4町の財政負担の軽減につながる可能性があり、将

来にわたっての費用負担が減ります。

以上、3点の理由から議案第10号令和4年度彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算について多くの議員の賛同をお願いし賛成討論いたします。

**○議長（杉原祥浩君）** ほかに討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

**○議長（杉原祥浩君）** 討論なしと認めます。

これより採決を行います。議案第10号 令和4年度(2022年度)彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算(第2号)を原案のとおり決することに、賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

**○議長（杉原祥浩君）** ご着席ください。起立全員であります。よって、議案第10号 令和4年度(2022年度)彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算(第2号)は、原案のとおり可決されました。

（「議長、動議」と呼ぶ者あり）

**○議長（杉原祥浩君）** では、西澤議員、こちらへお進みください。

ただいま西澤議員から動議の発言がありました。これを許可します。

6番西澤申明君。

**○6番（西澤申明君）** 新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議設置議案の提出理由を述べさせていただきます。宛先は彦根愛知犬上広域行政組合議会議長、杉原祥浩様となっております。今議会にて当局より新しく好気

性発酵乾燥方式(トンネルコンポスト方式)の検証を発表され、私たち議員は重要な転換点に立たされていると思います。従来路線の令和元年度に決定された彦根愛知犬上地域新ごみ処理施設整備基本計画に沿って進むのか、新しくトンネルコンポスト方式に転換するのか、賛否が分かれるかと思えます。しかし、トンネルコンポスト方式に進む場合であっても、基本計画で策定された様々な課題、施設様式、規模、建設候補地、環境影響評価など、一から計画の練り直しが必要になると考えられます。また、トンネルコンポスト方式がそもそもどのような仕組みなのか調査が必要となります。この処理方式を採用している事例は、現在のところ三豊市の一か所とのことであり、未知の部分がほとんどだと思えます。これら様々な今後の課題を行政と議会が共有し協議を重ね検証を深める上で定例会や臨時会の本会議だけでは不十分であり、しっかりと協議を重ねることができる新たな機関が必要だと考えます。

よって、新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議の設置を提案するものです。

**○議長（杉原祥浩君）** ただいまの西澤議員からの動議の成立については、彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則第9条の規定により2名以上の賛成者が必要となります。

お諮りいたします。

本動議に賛成の方々の起立を求め

ます。

〔賛成者起立〕

○議長（杉原祥浩君） ご着席ください。賛成者が2名以上のため、本動議は成立いたしました。

暫時休憩いたします。

---

〔午前 11 時 46 分休憩〕

〔午前 11 時 49 分再開〕

---

#### 追加日程 会議案第1号上程

○議長（杉原祥浩君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま西澤議員から提案のありました、会議案第1号 彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則の一部を改正する規則案を日程に追加し、議題といたします。提出者の説明を求めます。西澤議員。

○6番（西澤伸明君） 会議案第1号となります、彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則の一部を改正する規則案、上記の会議案を提出します。提出者は私です。賛成者は角井英明議員、瀧すみ江議員となっています。議案そのものは、彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則第35条の表に次のように加えることです。名称は、新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議。目的は、彦根愛知犬上新ごみ処理施設整備事業計画に関わるとごみ処理方式、施設規模、その他必要な事項に関わる調査、検証を行う。構成員は、全議員。そして招集権者は、議長になります。

付則は以下の文章のとおりとなります。1 この規則は、公布の日から施行する。2 この規則は、調査、検証が終了した日限り、その効力を失う。そして、2枚目に彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則新旧対照表があります。組合議会が持つ審議の場は、本会議はもちろんですけど、議会運営代表者会議と全員協議会。そして新たに、新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議となります。全員協議会がありますが、今日出た質問をみても特化した会議の設置が大事だと思いますので、議員の皆さんの賛同をいただきますよう是非ともお願いし、私の提案説明とさせていただきます。

○議長（杉原祥浩君） それでは、西澤議員の説明に対して質疑を行います。質疑はありませんか。

安澤議員。

○16番（安澤勝君） それでは、質疑をさせていただきたいと思います。西澤議員ご提案の新たに検討会議を設置するという点に関しては、異議を申し上げるものではございません。先ほど、管理者がヨーロッパでは当たり前前の方式だと述べられました。しかしながら、日本ではごみを燃やすものというのが、今までの常識でありまして、日本としては全く海のものとも山のものとも分からない状態です。新たな方式を取り入れるに際しましては、これからコンサルタント会社に委託をして、年度内に報告を受けるということでございます。そういうことから、

コンサルタント会社から報告があつて初めてどういうものかというのが分かってきますので、いまの現状で委員会を立ち上げたとしても、まだ資料等がない状況で委員会を設置するのはどうかと思います。この委員会をいつから設置をするのか。

それと議会運営代表者会議がありますけども、これはいわゆる特別委員会というようなことであれば、我々全議員が参画するのではなく、各市町の代表者の数名がしっかりと検討した中で、全員協議会や議会の場で議論をしてもよいのではないかと。構成員を全議員と提案されておりますので、そこら辺は、もう少し時間をかけて検討してもよいのかなと思います。

三豊市への視察を11月の18日と22日に予定されておりましたが、相手側の都合でなくなりました。ということは、我々が全く分からない状態で検討していくのは、できないこともあるかと思いますが。その点について提案者はどのようにお考えなのでしょうか、お伺いしたいと思います。我々議員の見識を深めるという意味で設置を拒むものではございませんが、時期や規模について、教えていただきたいと思ひます。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤伸明君） 設置の時期については、公布の日から施行するわけですから、議決のあと公布されたそのときからです。私が考えているのは、安澤議員が言われたように、質疑で出

てきた懸念や質問がいろいろあります。そういう点で協議をする受皿をいま整えておく。定例会は2月ですから、そのときでは遅いと思います。検討する材料については、委託するコンサルタント会社に中間報告などを求めて、それを材料に検討することもできます。全ての材料が揃った段階で検討すると方向転換がなかなか難しいという点で、議会と行政が認識を共有しながら議論をしていく受皿を整えておくことが大事だと思います。時期は特定していませんけども、実施している三豊市などの経験をいただいて検討できることもありますので、随時報告があれば、全議員で協議をする場を設けることは大事だと思います。

○議長（杉原祥浩君） 安澤議員。

○16番（安澤勝君） あと、全議員が参画するべきかどうかということについてですけども、1市4町の大きな問題ですので、行政組合の議員だけでは少ない気もしますが、特別委員会に全議員もいかなものかという気もします。その点について再度お伺いします。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤伸明君） 組合議会でも特別委員会、議会運営委員会、常任委員会を設置できる条例がないので、表に記載のとおり代表者会議、全員協議会、そして今回提案している新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議を設置するという改正がなければ、できないことになっています。そういう制

約がある中で今回に至ったということです。これは、議会事務局から丁寧な助言をいただきました。そういうことで提出することになりましたし、全議員としたのは、私も当初は議論があちこちいくといけないので10人程度に絞ってはどうかと思いました。そうすると、誰を選ぶのが難しい。それから、市では複数の方が代表者で出られてますが、4町では1人となっています。そういう点で、トンネルコンポスト方式の全体を認識するには全議員が必要かと思います。

○議長（杉原祥浩君） 安澤議員よろしいでしょうか。

それでは、ほかにございませんか。  
黒澤議員。

○13番（黒澤茂樹君） 私も調査、検討することは別に構わないと思うのですが、全員というのには引っ掛かります。会議規則の中で全員協議会は、行政上の重要な課題について協議または調整を行うとありますので、そこをわざわざ特出しするというのは、全員協議会の意味がなくなってくるのではないかなと思います。ですから、わざわざこれをあげないで議長が招集して、そこできっちりと議論したらと思うのですが、その点どうでしょうか。

○議長（杉原祥浩君） 西澤議員。

○6番（西澤伸明君） 現在ごみ処理施設の建設は、広域行政組合の中心的な事業であり、ずっと難航している事業です。全員協議会で協議できること

ですけど、特化した協議をしていく場が必要だという点で、議員が一致をすることが大事だと思います。そういう点で、全員協議会は議長の招集により調整できますけども、広域行政組合の事業全体の中での重要性から、ごみ処理をどうしていくのか。反対ばかりして難航しているけども、どこかで落ち着く必要があるんじゃないかという様々な意見が出されてきました。そういう点で、大きな転換にきていますので、特化した会議の設定が必要だと思います。

○議長（杉原祥浩君） よろしいでしょうか。

それでは、ほかにございませんか。  
それでは、質疑を終結いたします。  
次に、討論を行います。討論はございませんか。

（「あり」と呼ぶ者あり）

○議長（杉原祥浩君） 暫時休憩いたします。

---

〔午後0時04分休憩〕

〔午後0時11分再開〕

---

○議長（杉原祥浩君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

3人の方から討論の申告がございましたので、順次発言を許します。

その順位は、17番瀧すみ江さん、5番角井英明君、1番木村修君とします。

17番瀧議員。

○17番（瀧すみ江さん） 17番瀧す

み江、賛成討論を行います。会議案第1号 彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則の一部を改正する規則案に対して賛成を表明します。新しいごみ処理方式が提案され、現在トンネルコンポスト方式が行われている施設への議員全員の視察費用を計上された予算が可決されました。この方式でよいのか視察に伺った結果も踏まえ議会で検証の協議を行い、そのほかに最善の方式がないのかについて様々な角度から意見を出し合いながら行政とともに前に進めていくことが住民に対して責任を負った議会の役割だと考えます。以上のことから、行政と議会がともにしっかりと協議を重ねることができる、新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議の設置に賛成をいたします。皆様のご賛同をお願い申し上げまして賛成討論を終わります。

**○議長(杉原祥浩君)** 5番角井議員。

**○5番(角井英明君)** 会議案第1号に賛成する討論です。世界的規模で特に先進国の日本が取り組まなければならないCO<sub>2</sub>の削減と1市4町の厳しい財政状況の両面を考えて進めてきた大型の熱焼却方式を見直し、CO<sub>2</sub>の削減と財政のスリム化に資する好気性発酵乾燥方式が圏域内で実現可能性を持っているか調査、検証する議案が可決されました。今までの大型焼却施設ありきの進め方を見直すもので、そこは大いに評価したいと思います。今年度末にならないと詳しい

調査結果は分かりませんが、現時点でいくつかの疑問があります。

まず、新しい処理方式を採用することで、1市4町がそれぞれ取り組んできたごみの分別が後退しないのか。また、形成された固形燃料は工業用RPFの一部となりますが、引取先では石炭の代替として利用されるので地球規模で考えればCO<sub>2</sub>の排出量の抑制には繋がりません。しかしながら、好気性発酵乾燥方式という選択肢ができたことで、今までの1市4町のごみ減量の取り組みを活かし、それぞれの市町での好気性発酵乾燥方式の採用も考えられます。より良い選択肢が増えることに繋がります。1市4町の住民に責任を持つ広域行政組合議会議員が好気性発酵乾燥方式について、新ごみ処理施設整備事業に係る調査、検討会議を設置して調査、検討することが住民の思いや願いに真摯に答えることになり広域行政組合議会に見られなかった動きです。圏域内の多くの住民が令和11年度の供用開始を納得の上で迎えるためにも広域行政組合議会としての責任を果たすために、調査、検討会議が必要であると考え賛成するものです。

**○議長(杉原祥浩君)** 1番木村議員。

**○1番(木村修君)** 1番木村です。賛成討論をさせていただきます。いま2人の話を聞いていて、まさしく私もそのとおりだと思っております。先月トンネルコンポスト方式の説明を聞きました。以前にも話に出ていたのか

もしもませんが、私の頭には入っておりませんので、長年、燃焼方式のことばかり聞いていて、こんな方法もあるんだということを思い知らされました。角井議員がおっしゃられた令和 11 年供用開始ということが決まっていることにおいて、この新しい会議により遅れることがあれば問題ですが、ひょっとしたら、第 3、第 4 の処理方式があるのかもしれないという意味で賛成とさせていただきます。以上です。

**○議長（杉原祥浩君）** ほかに討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

**○議長（杉原祥浩君）** 討論なしと認め、討論を終結いたします。

これより、採決を行います。会議案第 1 号 彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則の一部を改正する規則案を原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

**○議長（杉原祥浩君）** ご着席ください。起立少数であります。

よって、会議案第 1 号 彦根愛知犬上広域行政組合議会会議規則の一部を改正する規則案は、否決されました。

以上をもちまして、今臨時会に付議されました議案は、全て議了いたしました。

これにて、令和 4 年 11 月彦根愛知犬上広域行政組合議会臨時会を閉会いたします。

皆様、ご苦労様でございました。

会議録署名議員

議 長 杉 原 祥 浩

議 員 小 川 吉 則

議 員 村 西 作 雄



全 員 協 議 会  
( 1 1 月 1 5 日 )



令和 4 年 11 月 15 日(火曜日)

午前 9 時 29 分開会

○議長(杉原祥浩君) それでは、始めたいと思います。本日は大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

それでは、臨時会の開会前にお時間をいただき、全員協議会を行います。

まず始めに、本日の臨時会の欠席者について、事務局から報告させます。

事務局長。

○事務局長(綾木陽一君) 失礼いたします。事務局の綾木でございます。公務等による欠席届が提出されておりますので、ご報告をさせていただきます。愛荘町の竹中秀夫議員が私用のため、欠席でございます。また、理事者側の野瀬甲良町長も公務のため欠席でございます。以上でございます。

○議長(杉原祥浩君) 今臨時会の開会に当たり、管理者より一言ご挨拶をお願いいたします。

管理者。

○管理者(和田裕行君) 皆さん、こんにちは。本日も、ご多用の中、彦根愛知犬上広域行政組合 11 月臨時会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。また、平素から当組合の管理運営に格別のご理解とご協力を賜り、重ねてお礼申し上げます。

さて、本日の臨時会は、令和 4 年度(2022 年度)彦根愛知犬上広域行政組合一般会計補正予算(第 2 号)を提案させていただくものでございます。

何とぞ、慎重にご審議いただきますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、開会に際しての挨拶とさせていただきます。

○議長(杉原祥浩君) ありがとうございました。

午前 9 時 31 分閉会

